



謹賀新年

新しい年を迎え皆様のご健康と、ご多幸をお祈り申し上げます 平成26年 元旦



新J新聞C

JCI

— 発行 —
 一般社団法人 野洲青年会議所
 野洲市西河原2400番地2F
 電話 077-589-3330
 発行責任者 松永 真平
 企画・制作 総務委員会



野洲市長 山仲 善彰様

第30代理事長 松永 真平

新春対談

「カンパニズム」

松永：二〇一四年度、野洲青年会議所は前進という言葉をキーワードに活動・運動していきたいと思っております。二〇一三年度、私たちは子ども達とその親御さんが共に学べる場づくりを行いました

年頭の「ごあいさつ」

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は一般社団法人野洲青年会議所の運動・活動に対して、多大なるご理解、ご協力を賜りましたことを、心より感謝申し上げますとともに、今後とも（一社）野洲青年会議所の運動・活動に対しても変わ

らぬご支援、ご協力賜りますことを改めてお願い申し上げます。二〇一四年度の（一社）野洲青年会議所は、「熱き情熱 限りなき前進 未来（あした）に向けた確かな一歩」をスローガンに、この野洲が抱える様々な課題に対し、真摯に向き合い、一切の妥協を排して取り組んでまいります。

（一社）野洲青年会議所は、本年創立30周年を迎えさせていただきます。良き伝統を守り、時代の変化に対応し、このまち野洲の発展、このまちに住まう人々のつながり、情熱をもってメンバー一同で前進していきます。また、各種団体の皆様と手を取り合い野洲のさらなる発展を目指し、出会いとつながりを大切に活動・運動に邁進してまいります。

結び、二〇一四年度が皆様にとって素晴らしい年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人 野洲青年会議所
第30代理事長 松永 真平

いお金は引き出せないように、スポーツや勉強でも練習を重ねないと上達しないという話、まちがひとを育て、ひとがまちを育てるという話をしました。また、子ども達から市長の仕事で何が大切なのかと質問を受け、健康で誠実であることが大切であると答えました。私は前向きで問題解決型なので、そこを感想に書いてくれた子どももいましたし、手紙では子ども達の夢を書いてくれたり、そのヒントをもらったと書いてくれた子どももいました。子ども達の手紙は論旨が明快で字も丁寧で、将来に希望がもてるものでした。

市の公共サービスは社会や家庭状況を健全に保つこと、チャンスをたくさん提供することです。道徳は教えるものというよりは、人として生まれながらに備わっているものだと思います。それがより良く伸びるように支援することが大事です。社会がそれを崩すような方向にならないようにしていきたいと思えます。押し付けるのではなく、伸びやかに信頼し合える社会を作りたいですね。

松永：二〇一三年、開催させていただいたキャンプ事業でも、私たちが子ども達に教えられる場面に行くとともにしている朝の挨拶なども普通ではあります。そういった純粋さを守っていききたいと思えます。

松永：野洲市に生まれ育った若者が、大都市に出て行って戻ってこない。大学で学びに行くのはいいとしても、その後は戻ってきても野洲市で活躍してほしい。そういったくなるような魅力ある町にするにはどうしていいか良いとお考えですか？

山仲市長：活躍できる場、つまりは仕事の間を留意することが必要だと思います。それと、文化、教育、買い物、憩いなどの魅力も重要です。例えば建物、ビルを建てたとしてもそのビルがマンションばかりではだめで、オフィスビルも必要です。住むところとビジネスをするところの両方が必要で、ビジネスが活発に行なわれるようなソフトとハードの基盤整備も必要です。これは一朝一夕ではできません。長期的な視野に立って、一貫した計画性をもって進めていく必要があります。

日本の大都市は海沿いに集中しています。滋賀は内陸県ですが、基盤整備によってヨーロッパの美しく活気のある町、例えばフランクフルトやミュンヘンのような内陸都市づくりが可能です。またビジネスでは、工場があるからいい、とする

山仲市長：ぜひ、子どもたちに体験の場、多様なチャンスが与えられる場を提供してあげてください。野洲青年会議所さんが、今まで築き上げられた実績や重ねてこられた蓄積を活かして、例えば周りからやり過ぎだと思われるくらい前向きに、エネルギーを出していただきたいと思います。

松永：30周年、節目の年ですので、そこまでやるかと言われるくらい、情熱をもって活動していきたいと思えます。ありがとうございます。

松永：野洲青年会議所は来年、30周年を迎えます。25周年の時に策定した中長期的ビジョン「ビジョン25」は二〇一三年で終わりを迎え、二〇一四年からはまた新しい方向性を打ち出し、運動を展開していきます。その方向性において、さきほどおっしゃられていた、ひとがまちを育てるといふ部分は非常に共感します。逆もまた真なりで、このまちが子ども達を育てる受け皿として機能する必要性を感じています。愛郷心や郷土愛という近いところから、子ども達の道徳意識や善悪の基準が育つていくと思えますし、それを引き出していききたいと思えます。

山仲市長：ぜひ、子どもたちに体験の場、多様なチャンスが与えられる場を提供してあげてください。野洲青年会議所さんが、今まで築き上げられた実績や重ねてこられた蓄積を活かして、例えば周りからやり過ぎだと思われるくらい前向きに、エネルギーを出していただきたいと思います。

30周年を迎えるにあたって

松永：野洲青年会議所は来年、30周年を迎えます。25周年の時に策定した中長期的ビジョン「ビジョン25」は二〇一三年で終わりを迎え、二〇一四年からはまた新しい方向性を打ち出し、運動を展開していきます。その方向性において、さきほどおっしゃられていた、ひとがまちを育てるといふ部分は非常に共感します。逆もまた真なりで、このまちが子ども達を育てる受け皿として機能する必要性を感じています。愛郷心や郷土愛という近いところから、子ども達の道徳意識や善悪の基準が育つていくと思えますし、それを引き出していききたいと思えます。

山仲市長：ぜひ、子どもたちに体験の場、多様なチャンスが与えられる場を提供してあげてください。野洲青年会議所さんが、今まで築き上げられた実績や重ねてこられた蓄積を活かして、例えば周りからやり過ぎだと思われるくらい前向きに、エネルギーを出していただきたいと思います。

松永：30周年、節目の年ですので、そこまでやるかと言われるくらい、情熱をもって活動していきたいと思えます。ありがとうございます。

松永：野洲青年会議所は来年、30周年を迎えます。25周年の時に策定した中長期的ビジョン「ビジョン25」は二〇一三年で終わりを迎え、二〇一四年からはまた新しい方向性を打ち出し、運動を展開していきます。その方向性において、さきほどおっしゃられていた、ひとがまちを育てるといふ部分は非常に共感します。逆もまた真なりで、このまちが子ども達を育てる受け皿として機能する必要性を感じています。愛郷心や郷土愛という近いところから、子ども達の道徳意識や善悪の基準が育つていくと思えますし、それを引き出していききたいと思えます。